

関係各位

社会福祉法人 福祉楽団

埼玉県吉川市における特別養護老人ホーム等、福祉施設の整備事業計画の中止について

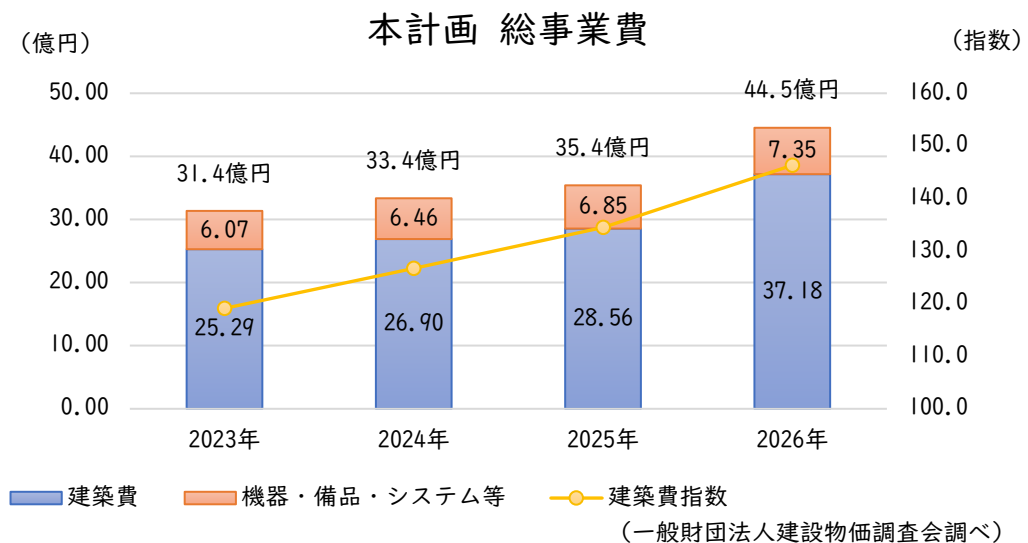
当法人は、埼玉県吉川市に整備を計画していた（仮称）吉川市特別養護老人ホーム整備事業計画（特別養護老人ホーム 120 床、強度行動障害者向けグループホーム 14 床等）について、計画の遂行を断念し、2026 年 9 月 30 日付で埼玉県に、福祉施設整備計画を中止する旨の報告を行いましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

2023 年から吉川市当局、地権者様、地元の当事者団体様、関係各位にご協力をいただき、整備事業計画の立案をすすめてまいりました。2024 年に、埼玉県の福祉施設整備事業として承認され、その後、建設コストの調整を重ねてきました。2026 年 3 月に第一回目の入札を行い、不調となり、建築面積を縮小し事業費の追加をするなどして、再度、2026 年 8 月に入札を実施いたしましたが不調となりました。

事業計画当初の総事業費は、31 億 3,600 万円でしたが、現時点での**総事業費は、当初計画の 1.4 倍にあたる 44 億 5,300 万円に達することが明らかになりました。**直近の建築資材の高騰なども鑑みて、金融機関とも調整し、できる限りの事業費の増加に努めてまいりましたが、その想定を超えて建築費等が上昇しております。

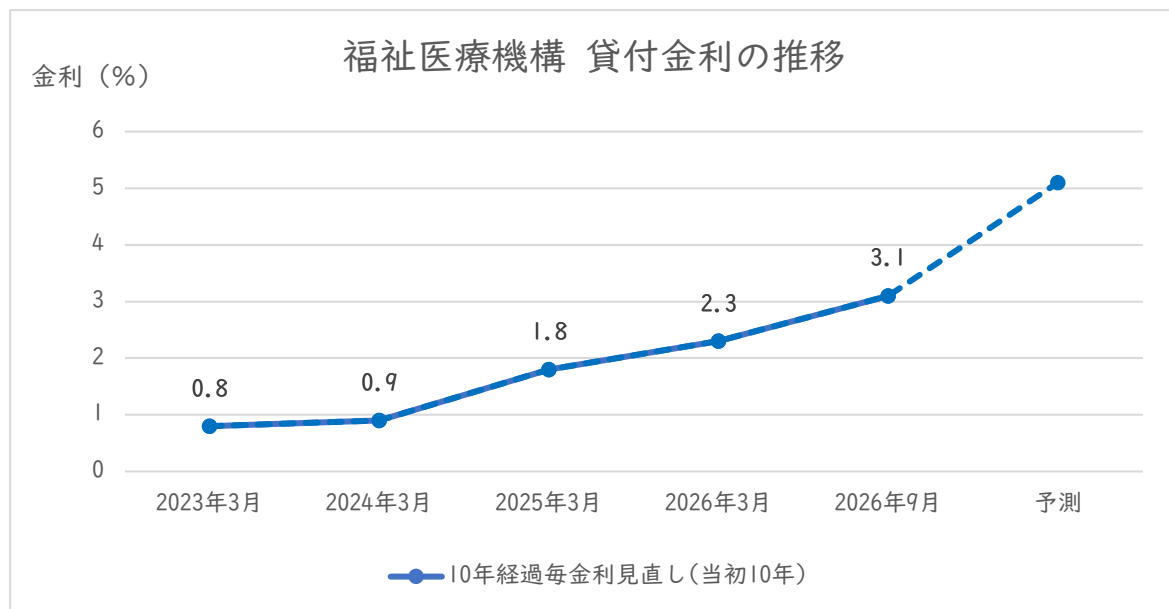
総事業費の変遷グラフ



福祉施設の建築費は上昇しておりますが、福祉施設の整備補助金に変化はなく、その不足分はすべて借入金でまかなうことになります。

直近では、政策金利も引き上げられ、福祉医療機構の貸付金利も、3%を超えております。この先も政策金利が上昇し、仮に政策金利が 2%になるとすれば、福祉医療機構の貸付金利も 5%を超えることも想定され、そうすると、事業開始から当初 10 年間の金利負担だけでも、約 17 億円増加することになります。

金利グラフ



このような情勢下で、事業費をさらに追加し本計画を遂行していけば、本計画単体で採算をとることが難しくなるだけでなく、既存の社会福祉事業にも影響を及ぼす恐れが発生してきました。当法人の財務状況からして、これ以上の事業費の増加には耐えられないと判断いたしました。

当法人は、吉川市における福祉施設の開設に向けて、上記のとおり種々の検討を尽くし、最善を尽くしてまいりましたが、以上の事情により計画を断念せざるを得なくなりましたことは、断腸の思いです。

これまで本計画の実現に向けてご協力いただいていた行政当局、地権者様、当事者団体の皆様、関係者の皆様、そして施設開設に大きな期待を寄せていただいた吉川市民の皆様には、ご期待に沿えない結果となり心よりお詫び申し上げますとともに、本計画を断念せざるを得なくなった上記諸事情につきご理解をいただきたく、謹んでお願い申し上げます。

なお、本計画の中止に伴って、当法人の 2027 年 3 月期の決算で約 9 千万円の特別損失を計上する予定です。これに伴って今期の業績予想については、現在精査中です。

以 上